

時代の進化に即応できる体制を

同窓会会長 有田 和男 (31 回)

* はじめに・・・・・・・・

この 4 月 28 日に開催されました役員総会にて、会則・第 12 条の規定により会長の選出が行われ、私が引き続き会長職の重責を担うことになりました。同窓会を取り巻く内外の厳しい現状を見ると、如何に対処していけばよいか、その任務を考えれば身の引き締まる思いであります。

時代は急速な変化をもって進展しています。同窓生皆様の母校と同窓会を見る眼・接する姿勢にも、その卒業年次・時代により、相当に考え方の相違が出てきているのも事実であります。ここに同窓会運営の難しさがあり、これへの対応を誤ることは出来ません。これに対処できる体制を整えなければと、苦慮しているのも事実であります。

この事実に対し向き合う為に、同窓会の置かれている実体を正確に分析・検討し、現状認識を正しく持って、同窓会として新時代に即応できる体制を構築し、会務の在り方・特に同窓会財政を根本から見直したいと、懸案の会費制度の改定を行いたく考えました。皆様方のご理解とご協力を、ここに切に願うものであります。

* 新終身会費制度の見直し・・・・・・・・

先の役員総会に、「新終身会費制度の見直し・修正、並びに年会費の増額、及び特典の 1 年延長」について提案説明を行い、理事・評議員の方々からご理解を頂き、そのご承認を得ました。

特に、年会費の増額問題は、ここ 10 年にわたり議論し検討を重ねてきた大きな課題でありました。これに踏み切るには関連する諸制度の見直しを必要とし、今回の会費制度の大幅な改定となりました。これの実施は、周知期間もあり平成 21 年度からとしました。

これは将来の同窓会財政の安定化・健全化を追求するとき、避けられない・また今これを実施しなければ、の道でもありました。皆様のご理解を得たく存じます。

* 夏の会員総会について・・・・・・・・

この 8 月 23 日 (土) に、会員総会を開催する運びとなりました。年に 1 回の会員総会の開催は如何にあるべきか、昨年の理事会から諸会議を通して、皆様方のご意見なり考えをお聞きして参りました。ご意見の多くは、同窓会の存在意義を考えれば、それなりの費用負担があっても開催を継続すべきとのことでありました。

今年も、会員総会運営委員会で、委員の方々にお知恵をだして頂き、ご苦労をお掛けする中で、一歩進んだ形での新しい会員総会が開催できる運びとなりました。

夏の総会を盛り上げようと努力される関係者の姿に、ただ感謝あるのみの気持ちです。同窓生の皆様には、それぞれご予定があるかと思いますが、一人でも多くのご参加を賜りたくお願い申し上げます。

* 旧制から新制へ・・・・・・・・

我々の同窓会も、戦後の学制改革により、旧制卒と新制卒の呼び名で、一つの垣根のようなものがあつたように思います。10 年ほど前までは、この影が同窓会の運営に、どっちつかずの形で反映されていたようです。

私が最初に同窓会の専務理事を委嘱されたとき、その時の高垣会長と山野井顧問、中島相談役から、貴方は旧制と新制の狭間で甲陽を卒業された。貴方に期待する一つは、同窓会の運営を旧制から新制へと、上手く移行させる橋渡しをして欲しいことだ、と言われました。

平成 9 年度の会務運営委員会で、新終身会費制度が審議された時に、今後は旧制・新制の呼称は、同窓会の公式文書には一切使わないことが約束されました。以後、同窓会では、第何回卒と高商・工専何回卒で統一されることになりました。

私の為すべき責務として、どの同窓生・在校生にも期待される同窓会を、次代の方々に引き継いで頂くことだと考えています。その為の改革を、役員の方々と議論しながら行いつつあります。執行部の役員も、若手の方々を起用させて頂きました。次代の方々が親しみ・そして活躍できる場を、同窓会の中で作りあげたいと願い、これが一つずつ形を成しつつあります。これらにより、同窓会に新しい風が吹くことを期待しています。

甲
陽
だ
よ
り

発行所
〒 662-0096 西宮市角石町 3-138

甲陽学院同窓会

発行人 有田和男

印刷所

株式会社 小西印刷所
西宮市今津西浜町 2 番 60 号
TEL (0798)-33-0691

同窓会事務局専用

TEL 0798-71-4888

(月・水・木 10:00~16:00)

FAX 0798-71-4890

E-mail :

fvqp1650@mb.infoweb.ne.jp

同窓会公式ホームページ

[http://www.koyogakuin-](http://www.koyogakuin-oba.jp)

[oba.jp](http://www.koyogakuin-oba.jp)

今すぐご予約を!

夏の恒例 会員総会

8月23日(土) 14時半~18時 於：ノホテル甲子園

— 詳細は 16 ページに —

卒業生と母校、在校生を結ぶ絆 奨学金ファンドにご協力を！

甲陽学院同窓会奨学金は、同窓会の皆様のご支援をえて、2006年度から奨学生への給付が始まり、2007年度にも中高あわせて6名の奨学生に各年額20万円を給付いたしました。

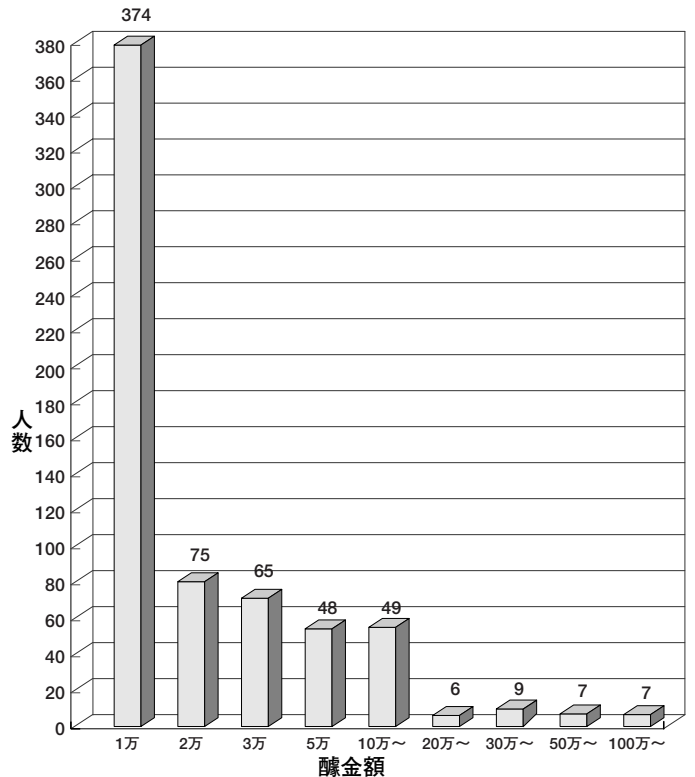
近年における在校生をとりまく環境は決して良好とばかりは言えないようです。同窓会奨学金以外の奨学金を受けている生徒や、各自治体の授業料軽減補助を受けている生徒もおります。また、昨年度の同窓会奨学金の奨学生募集では、中1と高1あわせて2名の定員に対して9名が応募するという状況でした。このように、このたびの同窓会奨学金の企画は、母校と後輩在校生にとって有意義なものとなっております。

この奨学金制度を永続させるためのファンドとしての目標金額は1億円ですが、2008年5月末現在のファンド残高は約3600万円です。より一層の基金の充実を図らなければなりませんし、そのことによって在校生への給付の拡充なども検討したいと考えています。

リピーター大歓迎です。一度ならず何度も醸金して下さっている方もいらっしゃいます。すでに醸金いただいた方にも、あらためてご協力をお願い申し上げます。

ご参考までに、1回の醸金額別の分布を掲載します。醸金方法は3ページをご覧ください。一口1万円から、

口数に上限はございません。皆様のご協力を重ねてお願い申し上げます。



新役員の紹介

4月28日に開かれた役員総会において、平成20・21年度の会長の選出が行われました。席上、有田会長の再任を推す声があがり、満場一致で有田会長の再選が決まりました。また、監事に関しては、川端喜佐男氏(22回)と渡邊功氏(43回)が勇退され、善野史郎氏(33回・新任)、水島昇氏(49回・再任)、植木努氏(65回・新任)の3名が選出されました。その後、有田会長から各役員への委嘱が行われ、また、各委員会では委員長の互選が行われましたので、以下にその結果を掲載いたします。

平成20年度 役員名簿

役職名	回生	氏名
名誉会長	22	平田 豊
会長	31	有田 和男
副会長	高商1	宗田 久雄
	35	中村 貞三
	45	西村 貞一
	57	今西 昭
相談役	1	西松 龍一
	12	建内 保興
顧問	34	横内 昭
	35	尾山 啓二
	36	田村 真也
	41	守殿 貞夫
	55	大川 貴史
専務理事	57	箱田 光信
常務理事	29	小西 博夫
	34	水野 寛
	39	泥 光重
	42	花木 繁
	45	揚野 寛
	47	山崎 仁嗣
	51	辰野 久夫
	52	河内 厚郎
	55	森口 匡

常務理事	62	嶋吉 由喬
	67	梅谷 幸弘
監事	33	善野 史郎
	49	水島 昇
	65	植木 努

平成20年度 会報編集委員会名簿

役職名	回生	氏名
委員長	55	森口 匡
委員	42	花木 繁
	55	大川 貴史
	57	今西 昭
	62	嶋吉 由喬
	68	橋本 修吾
	72	橋本 貴博
	74	溝口 貴浩

平成20年度 会員総会運営委員会名簿

役職名	回生	氏名
委員長	45	揚野 寛
委員	29	小西 博夫
	32	金山 二生

委員	33	二宮 一明
	35	中村 貞三
	39	泥 光重
	46	多鹿 和夫
	52	河内 厚郎
	54	吉井 友実
	55	大川 貴史
	57	箱田 光信
	57	今西 昭
	67	梅谷 幸弘
	69	真下 貴

平成20年度 甲陽ファンド管理委員会名簿

役職名	回生	氏名
委員長	39	泥 光重
委員	38	江崎健一郎
	39	松村 光雄
	40	金井 孝憲
	40	篠田 勝郎
	41	平島 徳治
	42	大野 忠雄
	42	花木 繁
	43	渡邊 功

委員	55	大川 貴史
オブザーバー	36	當舎 侃
	36	西村 善明
事務局	57	今西 昭

平成20年度 会務運営委員会名簿

役職名	回生	氏名
委員長	47	山崎 仁嗣
委員	29	小西 博夫
	32	金山 二生
	35	塩谷 洋一
	35	中村 貞三
	38	江崎健一郎
	39	泥 光重
	40	金井 孝憲
	42	花木 繁
	45	揚野 寛
	51	辰野 久夫
	54	吉井 友実
	55	大川 貴史
	57	今西 昭
	57	箱田 光信
	67	梅谷 幸弘

甲陽学院同窓会奨学金ファンド醸金者一覧

2008年1月1日以降6月2日までにファンドに醸金くださいました方のご芳名を以下に掲載いたします(敬称略)。まことにありがとうございました。(2007年12月31日以前に醸金された方は73号～77号に掲載しております。)

18回 土居 俊彦	36回 安江 敬夫	39回 早崎 淳	56回 佐野 隆夫
20回 藤木 茂	36回 吉田 耕一	39回 林 信行	57回 国賀就一郎
22回 須賀 章介	37回 澤井 敏治	39回 林 信行	57回 白尾 誠二
23回 大内 隆	38回 江壽健一郎	39回 福田 治郎	57回 山根 敏彦
27回 光野 昭	38回 高寺 美慈	39回 前田 直孝	58回 日下 肇
27回 大澤 安隆	38回 松林 輝芳	39回 政岡 一安	58回 田中 史朗
28回 勝部重一郎	38回 溝手 達郎	39回 松木 繁直	59回 島本 佳憲
28回 浦岡 忠一	38回 佐藤 康人	39回 松崎 紀樹	60回 矢飼 稔之
31回 八木 頼夫	39回 井上 修次	39回 松村 光雄	62回 栗栖 孝一
33回 大宮 洋	39回 石原 利紀	39回 三木 好信	62回 吉岡 泰彦
33回 森下 哲志	39回 今井 秀志	39回 森 忠彦	63回 赤松 俊浩
33回 若田雄太郎	39回 上田 康弘	39回 森内 孝彦	64回 岡原 正周
34回 松村 光	39回 牛尾 正之	39回 山縣 敬一	65回 八尾慎一郎
34回 横内 昭	39回 小野 彰司	39回 山口 志朗	66回 松下 浩司
35回 尾山 啓二	39回 大嶋 俊彦	39回 吉見 健一	68回 伴 直樹
35回 国領 薫	39回 大岡 陸夫	39回 若狭 博	72回 小西 洋平
35回 吉田 龍二	39回 大西 信久	40回 森 明	72回 三好 直貴
36回 稲松 登	39回 大西 信久	41回 山下 忠義	74回 徳岡 俊治
36回 大北 克利	39回 大前 忠行	42回 澤田 靖士	75回 辛島 理人
36回 太田 哲次	39回 奥村 信	43回 柴山 和夫	75回 小東 茂夫
36回 大野 順平	39回 音川 和三	43回 三田 和一	77回 小西 和人
36回 大家 寛治	39回 加輪上敏彦	44回 木村 正昭	78回 中山 知
36回 小村 英吉	39回 梶村 慎吾	45回 井上 良彦	82回 西林 章光
36回 杉野 修三	39回 今川 彰男	46回 近藤 宏	83回 伊奈 稔哲
36回 角野 敏二	39回 川地 威	48回 国本 哲三	83回 小西 勲
36回 但井 浩二	39回 陶山 昌雄	48回 木幡 達	83回 小西 毅
36回 竹内 陽一	39回 杉本 和之	51回 梅原 一彦	89回 井上 雄嵩
36回 辻 芳明	39回 曾我 典夫	51回 村上 正裕	高商4 佐々木 叶
36回 西村 善明	39回 多田 昭次	52回 小森 明生	36回生 有志一同
36回 原納 優	39回 田中 敏明	52回 土居 章展	89回生 育友会
36回 福田 達	39回 田村 坦之	53回 片岡 良友	旧教員 静 利一郎
36回 藤井 保男	39回 泥 光重	53回 遊磨 正秀	松尾 泰裕
36回 星野 彰	39回 中島 宏幸	54回 中野 茂	
36回 丸野 貞彦	39回 永瀬 伸一	55回 桜井 太郎	
36回 光永 三郎	39回 西牧 駒蔵	55回 御手洗 毅	
36回 矢田 忠	39回 橋寺 立	56回 飯尾 純	

奨学金ファンドへの醸金方法は以下の通りです。

- (1) 同封の振込用紙を利用し、通信欄にファンドへの醸金の旨を明記して、郵便局もしくは三井住友銀行の「甲陽学院同窓会」の口座にお振り込み下さるか、
 - (2) 三菱東京UFJ銀行芦屋支店 普通口座3998990 口座名義 甲陽学院同窓会奨学金ファンド にお振り込み下さい。
- (2)の場合、振込人の卒業回生が分かるようにお願いします。

学校だより

お世話になりました

今春、静利一郎先生、大野哲哉先生、立花育代先生が退職されました。静先生は1965年から43年間、大野先生は75年から33年間、ともに柔道を中心に保健体育科の教諭として、そして長く指導主任として本校の教育に携わってこられました。また、立花先生は93年から15年間、高校の養護教諭としてご活躍されました。このたび、3先生からご挨拶を頂戴いたしました。

退職の辞



静利一郎 先生

♪大空に 大空に 指もてえがく
希望のつばさ 甲陽 甲陽 甲陽学院♪

50歳の年の差のある、箱田学年中学校卒業生達と共に2008年3月、43年間の甲陽学院教師生活を無事卒業しました。新旧の柔道部主将から送別の言葉と花束を贈られて、甲陽学院の古い歴史を今もとどめる講堂の中央を石川義明校長の先導で退場です。生徒たちの笑顔と拍手に送られて校長室のソファに腰を下ろすまでの数分の間に甲陽学院でのたくさんの楽しい思い出が蘇ってきました。

赴任最初の入学式・始業式、全校生徒の前で校長先生に紹介され、自己紹介挨拶をしました。なにを話したのか内容は覚えていませんが、生徒たちから大きな拍手で迎えられ、頑張るぞと力が湧いてきたのを覚えています。

一緒に中学校に入学した生徒達が1952年生まれで10歳の差、高校3年生は5歳しか離れていませんので、昼休みも放課後も何時も生徒たちと遊んでいました。授業でも元気な先生の要求を温かく消化してくれました。修学旅行でも何時も生徒たちと一緒にでした。12年間連続で九州の修学旅行を引率しましたので、宮崎交通のガイドさんより九州は物知りになりました。球技の授業ではチーム分けをすれば、高校2年生の生徒は自分たちでキャプテンを中心に自主練習を始めます。早朝練習や昼休みも返上しての強化練習でクラブ活動のチームよりまとまりのあるチームがたくさん出来上がりました。生徒たちに教えられる毎日でしたから、ゲームになれば生徒たちと共に汗を流しました。これといった指導者もないクラブ活動は自分達の独自の練習計画で、市内・阪神・県の強豪たちを打ち負かし素晴らしい戦績を残していました。

体育の研究会で生徒の自主性を導き出すのは如何にすべきかとの討論で、甲陽学院では生徒に任せておけばうまくいくと発言し研究会を静かにさせてしまったことが有りました。

そんな甲陽学院でも中学の甲関戦ではなかなか勝利を積み上げることが出来ませんでした。私にとっての最後の甲関戦となった第55回交換競技大会で10回目の総合優勝、速報では「甲陽学院 歴史的な大勝利!! 感激の胴上げ! 静先生、宙に舞う!!」活字も踊りました。

その勢いのまま、中学の音展では生徒たちの協力で、C&Wコンサートを造り上げてもらいました。楽器や機材を運搬してくれた生徒たちに感動してくれた音楽

仲間達、会場に案内してくれた生徒に感激してくれたお客さん。コンサート以上の贈り物と生徒達に感動しました。これからは甲陽学院の私設応援団長として校外から声援を送りつづけます。

卒業生の皆様にも沢山の助言、激励、支援を頂きました。有り難うございました。

8月23日(土) 同窓会でお会いしましょう。

中学校新食堂完成

『甲陽だより』第76号でもお伝えしましたが、中学校の募集定員増加に伴い、食堂拡充の必要性が生じました。そこで、高商・工専の頃から長く親しまれた中学校の木造校舎を取り壊し、そこに食堂を新築することとなりましたが、2月14日無事竣工しました。木造校舎のイメージや前庭を極力残しつつ新築された食堂は、床面積510.45㎡、椅子の定員258席という、ゆとりのある空間に仕上がりました。11月3日に開催予定の音楽と展覧の会の日には、ご来校の皆様にもご利用いただけますので、お越しの節は是非食堂にもお立ち寄りください。なお、高商・工専の頃からの校舎がここにあったことを記念し、「甲陽高等商業学校 甲陽工業専門学校 発祥之地」という碑をたてることといたしました。



定年退職を迎えて



大野哲哉 先生

1975年4月に本学院に着任し33年間、お世話になりましたが3月31日をもって定年退職いたしました。

この間、有名進学校の学校生活のなかで、当初は一体育教師としてのあるべき行動はどうかと大いに悩み自問自答した事もありましたが、保護者の皆様、学校長、諸先生方との関わりのなかで、多大な迷惑をかけながらも今日に至るまで心温かいご指導とご理解を賜り無事に定年を迎える事が出来ました事に心より、お礼申し上げますと共に感謝をもいたしているところです。誠に有難うございました。

日常の学校生活では、素晴らしい優秀な生徒諸君との出会いのなかで常に新鮮な刺激を受けながら有意義に過ごす事が出来ました。2年生3学期最後の授業では、生徒諸君の熱き心遣いで胴上げをして頂きました事、永い教職生活のなかでも心に残る一つの出来事であり、本学院の生徒達の心優しさを改めて知り喜びを感じているところです。

卒業生の皆さんには今尚、敬意あふれる態度で接していただき有意義な一時を過ごさせて頂いている事にも大いなる感謝をいたしております。

本学院では、中学校、高校と、その大半を生徒指導に携わって参りましたが、そのなかで過去には、指導主任として適正を欠き諸先生方に多大なご迷惑をおかけした事もありました。

また、緊張した日々の学校生活が途切れ、何らかの気の緩みで問題行動を犯してしまった生徒、保護者の方に対して甲陽生としての責任と反省を促さなければならぬ時、特に保護者の方の心中を察する時、指導主任として、まさに千辛万苦の思いで心を痛めた事もありましたが、昨今の新聞報道等での中学生、高校生の痛ましい問題行動を思う時、その背景には、それぞれの複雑な思いが事件の引き金になっているように考えられますが、幸い本学院では教職員一同が毅然とした態度で生徒達にルールの明確化を図り、保護者の皆様にもご理解とご協力を頂きながら、また優秀な生徒諸君の規範意識も高く、大きな問題行動を犯す事なく生徒指導に携わってきた一人として、今日を迎える事が出来ました事に心より感謝いたしております。

退職して2ヶ月余り、本学院にお世話になり33年、保護者の皆様、諸先生方、生徒諸君との過ぎ去りし素晴らしい日々を懐かしく思い浮かべながらの日常生活です。

最後になりましたが、保護者の皆様、卒業生の皆様には本学院に尚一層のご理解とご協力を賜りまして、我等が愛する甲陽学院が更なる飛躍を遂げますよう教職員一同、生徒の目線に立ち学校教育の充実に専念いたしておりますので、一人のOBとしても、力強いご支援を宜しくお願い申し上げます。乱文ではありますが、退職のご挨拶といたします。

退職するにあたって



立花育代 先生

夙川の桜並木も六甲の山々も瑞々しい新緑一色に染った春4月、この懐かしい甲陽学院高等学校にお別れを告げて退職致しました。

退職して早1ヶ月を過ぎた今も朝目覚るとまだ勤務に出かける時の様に慌しい気分になり、我乍ら苦笑してう時があります。

振り返れば早15年の歳月が瞬く間に過ぎ去ってしまいました。その間に甲陽学院を去っていかれたたくさんの先生方の事も懐しく思い出しております。校長先生も、小河清磨先生、中村泰三先生、そして現校長の石川義明先生、と陰からお支え下さった諸先生方にも改めて心から感謝申し上げる次第です。

巣立って行った卒業生も数えれば三千人を超えました。在学中余り保健室を利用せずにいた生徒もたくさんいますが、折にふれ、顔を見せに来てくれた子達の事は矢張り忘れる事はありません。体育祭、修学旅行、音展、スキー旅行、そして卒業式、一年はあっという間に過ぎ去ります。それを、あの年は、この年はと思い出のページを捲ってゆけば、懐しい生徒の顔々、折々の場面、あんな事もあった、こんな事もあったと、走馬燈の如く、そしてそれは優しく美しく、澄んだキラキラと輝く時間となって甦ってきます。その度心の中は暖かく倅せな思いで充たされていきます。私にとっても甲陽学院での歳月はもしかして二度目の青春であったのかも、と感じております。

今、世界はかつてない様々な危機に見舞われている様です。毎日の様に報道される、自然環境の破壊、地球温暖化による異常気象、食糧危機、エネルギー危機、世界を巡る経済危機、私達がまだそれ程身近に感じていなかった様々な危機は今、あっという間に自身の身に直接降りかかる危機となって押し寄せて来ました。遠い国で起っている事と思っていた出来事も決して遠くはなくなり、すぐ側にある事となってしまいました。国や組織や個人が自らの利益のみを追い求めた結果ではないのでしょうか。これからは世界中の一人一人がこの世界と地球の為に何をすべきか考えないといけないと思います。この素晴らしい学舎で、世界のリーダーになれる素質を身につけて巣立って行った卒業生の方々が、世界の為、地球の未来の為に真直な情熱を注いで、素晴らしいリーダーとして活躍して下さる事を信じています。

最後に諸先生方、卒業生の皆様方がいつまでもご健康であります様お祈りしております。

学校だより

中学校4月の恒例行事・校外学習

2002年度から中学校では、生徒相互の交流を深め、また視野を広げるために、4月下旬の一日を校外学習の日と定め、学年毎に様々な方面にでかけています。本年は4月23日（水）に実施しました。入学間もない1年は、親睦と自然に親しむことを目的にグリーンピア三木に、2年は自然科学に関わる科学館・博物館を巡り、3年は学術的雰囲気と歴史に触れようと京都大学と宇治に行きました。以下に各学年からの報告を掲載いたします。

第1学年

1年生はグリーンピア三木を訪れました。心配された天候でしたが何とか最後まで雨粒が落ちることなく、一日の予定をこなすことができました。

当日、登校後に体操服に着替えた生徒諸君は9時にはバスに乗り込み目的地に向かいました。グリーンピア三木到着後には地図を手渡され、オリエンテーリングの開始です。地図に記されたチェックポイントを探し、たどり着くとそこにはアルファベットが一文字書かれた看板があります。3箇所あるポイントの文字をメモしたうえでゴールする早さを競います。班別で行動しましたが、走る班あり、立ち止まって話し合う班あり、はたまた完全に道に迷って途方に暮れる班ありとさまざまに、それでも協力し合いながらのひとときとなりました。1位から3位までの班には主任の森口先生からすてきな景品も授与され、生徒達の歓声が湧き上がりました。芝生広場で昼食を取った後は、午後からは施設内にあるパターゴルフ、サイクリング、ローリングコースターなどのさまざまなアトラクションを楽しみました。全体の集合写真を撮影の後、帰路につきました。当初の予定よりやや遅れましたが4時前には参加者全員が無事に帰校しました。

ついこの間まで小学生であった生徒達にとって最初の楽しめる、そしてちょっぴり疲れる行事であったことでしょう。知り合って間もない友人達との親睦を大いに深めた一日となりました。



校長とパターゴルフを楽しむ

第2学年

中学2年生の校外学習は、自然科学に関係する野外学習をすることを目的として、午前は大阪ガス科学館、午後は大阪市自然史博物館を見学しました。

ガス科学館では、様々な気体や熱の性質、資源の埋蔵量などを学習し、バスに乗ってガス工場の見学を行いました。また、シアター（映画）を通じて、天然ガスの採掘、輸送の方法について学びました。様々な体験を通じて学習できるので、楽しく見学することができました。

自然史博物館では、化石や生物の標本、宝石を含む岩石などを班ごとに見学し、クイズをしました。

以下は校外学習の生徒の反省です。

1. 良かったこと

- ・学校で勉強できないことが勉強できたこと
- ・地球温暖化について考えることができたこと
- ・ほとんど話をしたことがなかった班の人と話ができて、仲良くなれたこと
- ・比較的静かに行動できたこと
- ・バスの中で音楽を聴くなど楽しく過ごせたこと

2. 反省すべきこと

- ・列や班がバラバラになり集団で行動できなかったこと
- ・バスで行儀が悪かったこと
- ・後半疲れて班の人にちょっかひを出し迷惑をかけてしまったこと



大阪ガス科学館にて

第3学年

今年の中学3年生の校外学習は「京都・宇治」探訪を行いました。

学校を出発したバスは新しく出来た阪神高速京都線を通して京都市内に入り、京都大学に到着。京大では甲陽OB6名が待ち受けてくれて、時計台前で紹介があった後、初めはクラス毎にOBが先導して京大キャンパス内を見学しました。中学校とは違う雰囲気にとまどいを感じながら、限られた時間の中で思い思いに大学のキャンパスを見て回りました。再び時計台前に集合して先輩達にお礼を述べてバスに乗り込み、そこから宇治へと向かいました。

宇治源氏物語ミュージアムに到着後、ミュージアムを見学し源氏物語の世界に触れた後、班別の自由行動となりました。ミュージアムを出てさわらびの道を通り、世界遺産に登録された宇治上神社を見学した班も多かったようです。

宇治川沿いで各自持参した昼食を食べ、宇治川を渡って世界遺産の平等院鳳凰堂を見学しました。10円玉の表側にデザインされていることは知っていても、本物を見たことがある生徒は少なかったのではないのでしょうか。実物の資料を自分の目で見ることの大切さを実感した後、平等院から学校へ向けて帰路につきました。

集めた資料や撮影した写真をもとに後日研修報告書を作成しました。



京都大学にて

学校だより

創立記念音楽会 舘野 泉氏を迎えて

恒例の創立記念音楽会は 4 月 29 日 (火)、世界的ピアニストである舘野泉氏を迎えて開催されました。舘野氏は 2002 年に脳溢血で倒れ右半身不随にされましたが、不屈の精神で乗り切り、04 年 5 月左手による演奏会で復帰。以後精力的に活躍されています。

観衆の視線の集まった舞台に颯爽と現れた舘野泉氏は優雅な一礼の後、1 曲目のブラームス編曲のバッハの演奏へと入っていきました。左手の演奏とは思えないとてすばらしいものです。すぐさま聴衆の心を引きつけ、2 曲目のスクリャービンの軽やかなプレリュードの後のノクターンは、その魅力を更に一層引き立てました。陽気溢れる当日、3 曲目“風のしるし”演奏終了後の休憩時間には会場の熱気を逃がすのに窓を開けるほどでした。



4 曲目には平原あゆみさんとの共演で、三手連弾でした。それまでのものとは一味違う音色は、誰しもの琴線に触れたことでしょうか。とりわけ秀逸であったのは、プログラム最後の“タビオラの幻想”ではなかったでしょうか。その左手で奏でられる音楽に、一同心動かされました。

アンコール 1 曲目の“アヴェ・マリア”演奏前から演奏終了後まで、講堂内の熱気と感動を沸き起こさせ、そして、アンコール 2 曲目の吉松隆氏により舘野氏に献呈された曲で演奏を締められました。

高等学校 体育祭

2008 年 5 月 11 日、前日降り続いていた雨もあがり、肌寒い中、無事体育祭が開催されました。太陽は雲に隠れ、グラウンドの状態も良くはありませんでしたが、朝早くからラインの引き直しなど体育祭委員の頑張りのおかげで予定通り開始しました。

開会式が始まる頃にはすでに大勢の方にご来場頂き、にぎやかな雰囲気の中、生徒達が入場しました。100m ハードル走、100m 走の準決勝は予想通りほとんど 3 年生が決勝進出を決め、綱引きに至っては決勝進出を果たしたのはすべて 3 年生でした。



今年は放送係のかける音楽がとてもユニークで好評でした。得点係はしっかりと仕事をしていましたが、風が強いために得点板の数字が常時飛ばされていました。クラブ対抗リレーでは、各クラブを象徴した姿で皆を楽しませました。後半に入り、The 相撲では、生徒のテンションもピークになり、相当な盛り上がりとなりました。決勝戦はほとんどが 3 年生同士の闘いとなり、圧倒的な差を付けて 3 年生が総合優勝しました。

第12回 リレー随筆

「心の健康とフグの毒」

江隈 一夫 (34回)

近頃、変な事件が多い。母親が幼い子供を殺したり、高校生の息子が母親を殺したり、殺すのは誰でもよかつたと無差別に包丁で切りつけたり、プラットフォームから前の人を突き落としたりする事件が頻発している。又、無惨な無理心中も後を絶たない。これらの犯人は普通の人間ではなく狂人でなくてなんであろう。

事件性がなければ報道されることはないが自殺する人が異常に多い。交通事故で亡くなる人は年間1万人弱で、これに比べ自殺者は多く3万人と云うが、有効な対策を出す政党はなく、行政も、なおざりで冷たい。

今、格差は正や弱者救済が叫ばれているが、こんなに多い自殺者を省みずに、出来る筈がない。犯罪や自殺する人の心は明らかに病んでいる。犯罪心理については学者でないのでよく分からないが、自殺する人は必ず鬱病であると言うのは理解できる。自殺者が3万人と云うことは、これより遙かに多い何百万人の人が鬱を患っている。風邪ならすぐ薬を飲むのに、誰でもかかる鬱病は医者にも行かないし、薬も飲まない。

Marilyn Monroeが頻繁に精神科医へ通っていたことは有名であるが、米国では精神科医が多く誰でも利用している。ところが、日本では精神科医は少ない。田辺市は医院が多く、何科でもあるが精神科は見かけない。厚生労働省が積極的に精神科医を増やし、PRに務めなければ自殺は減らないのではないか。最近、中国の餃子事件や食品の偽装で食の安全へ関心がより高くなり、人々が如何に健康に配慮しているかを示しているが、心の健康については殆ど叫ばれていない。Christian Countryでは自殺は殺人より重い罪とされているので、米国では少ないと思っていたが、そうではなく我が国と同じ3万人だそうだが、人口が3倍なので日本の3分の1となる。何れにしても、豊かな国で何故こんなに自殺者が多いのだろうか？これは、日本は仏教国であるが名ばかりであって信者と云える人は少なく、米国も同じ見せかけのChristianばかりで実際は無神論者であることに起因する。アラブ人は爆弾テロ以外で自殺することはない。調べていないので確かなことは言えないがイスラムでは自殺する人は無い筈だ。

心の健康を保つ上で、宗教に勝るものはないが、無信心者ばかりの国ではこれは無理な話である。しからば次は、スポーツか趣味となる。が、ここで見落とせないのが酒である。心の健康からみれば酒は極めて有効で、酒飲みは酒さえ飲めば、何時でも、何処でも天国である。天国で自殺する者はないだろう。しかし、酒は飲み続けられれば、必ず身体を壊すので良い方法ではない。時々気晴らしに留めることが出来れば酒は最高であるが、そうは問屋が卸さず、アルコール依存症で命を縮めることになる。

心の健康のために魚釣りを始めたのではないが、私は釣りキチである。甲子園の浜で子供時代始めた釣りが私の運命を決めた。私達の世代は激動の時代で、戦争から

敗戦を経て、深刻な食糧不足を経験しているの、今、穀物価格が高騰しアフリカの人々が困っていることは良く分かるし、食うや食わずの生活をしている人は自殺しないことも知っている。世代も激動であったが私の人生も波乱万丈であった。

学校を出て、父の会社へ入ったが、その年の暮れ父が亡くなり、社長を継いだが、人材に恵まれ組織が出来ていたので、別に困ったことはなく経営は順調であった。私は相変わらず、釣りキチで早朝、船を出して釣りをしてから出社し、社長室でよく居眠りしていた。

時代は高度成長に入ったが社員500人ほどで溶接棒の製造、販売と言う地味な仕事をしていたので、利益が2倍3倍になることはなかった。そのまま今まで通り、釣りをしてから会社に出かける暢気な生活を続けていれば良かったのだが、また、誰からも云われた訳でもないのに何か申し訳ない気がして、朝の魚釣りを止めて、真剣に金儲けを考えた。高度成長とは土地神話の時代でもあった。そこで、土地に手を出したが、短期間に本業を上回る利益を手にした。そこで、本業はそっちのけで、北海道から沖縄まで土地を追い続けゴルフマニアではなかったが、遂に、福岡でゴルフ場の建設に着手した。滑り出しは順調であったが、暫くすると石油ショックに巻き込まれ、日本中が激変し、我々の事業もたちまち頓挫した。あっという間に会社更生法を申請せざるを得ない事態になり、90億円の負債を抱えて、会社は倒産した。

私は会社を辞めたが、まさか自分の会社を辞めることなどさらさら考えたことはなかった。家族も大きなショックを受けたが、家内は私が落ち込むのを恐れ「魚釣りでもしたら」と慰めて呉れた。それで釣りを再開したが、今度は、何時まで経っても釣りばかりしていたので家内は、倒産のショックで頭がおかしくなったと思っただけ。倒産で自殺したり、無理心中するケースは良く報じられているが、私はまるっきり平気だった。もっとも倒産にもピンからキリまであり、会社更生法さえ適用されれば、後は何とかなると思っていたが、この勘だけは予想が的中した。更生法の申請者として、第1回の債権者会議に臨み、冒頭、謝罪したが、裁判長から「あんたが社長ですか。分かりました。帰ってよろしい」と言われただけで、拍子抜けした。食べて行けるだけの生活費は貰えたので、別に心配することはなかったが、家内は真剣だった。

料理が得意だったので、調理師の資格を取り、近所に親切な飲食店があり、そこで店のノウハウを教えて貰い、小料理屋を始めることになった。私も2ヵ所ほど見学に行ったが、若い頃から魚を捌いたり、佃煮を炊いたりしていたので、何の抵抗もなかった。



開店してみると、結構面白かった。私自身酒を全く飲まないで酒飲みとはどんな人種か分からなかったが、客層は会社員、公務員、お医者さん、学校の校長、大学から小学校の先生、商店主、バーのママさん、何をしているか分からない人 Etc で多岐におよび、いろいろ裏話を聞かせて貰った。そこで酒飲みとは世間の憂さを酒で流す人達で、根は善人であることが直ぐ理解できた。倒産で自分が落ち込まなかったことは自分でも不思議だったが、更に驚いたのは家内の客扱いの上手さだった。今まで全く経験は無いはずなのにその見事さには舌を巻いた。その道のプロのママさんが喜んで帰ってくれた。店に来る客は只、酒を飲みに来るだけではなく、心を癒せる雰囲気求めて来る。

一時の楽しい時間を提供し、良い気分になって帰って貰うのが、この種の店のサービスであるが、これは到底マニュアルには出来ず、個人のスキルに由るところが大きい。酔客は尻が重く付き合っている店が閉めれないので、私が Bouncer をした。毎夕、開店後は店を手伝うが、暫くすると店を家内に任せて下がり、仮眠して頃を見て店に顔を出した。すると客は直ぐ帰ってくれた。こ

のようにして、儲けるまでには至らなかったが店は続けられたが、平成になり、倒産から約 10 年して債務保証も片づき、全財産は失ったが、一つだけ担保に取られていた甲陽園にある 500 坪の土地が返ってきた。飲食店は仕込みと後片付けに時間がかかり非常に忙しく、いささか疲れたので、これを機に店を閉じ、田辺市に移り余生を磯釣りで過ごすことにした。

趣味のない人はどのようにして過ごしているのか全く理解できない。私は既に 20 年間、四季を通じて殆ど毎日磯釣りをエンジョイして来たが、さらに 100 歳まで続けることを目標に夕食抜きで、2 時おきの超朝型の生活をしている。しかし、釣りが出来なくなったときが寿命と考えている。介護施設にお世話になる積もりはない。幸いなことに、私はフグの肝が何時でも容易に入手出来る。釣りキチはフグ毒 Tetrodotoxin で人生を終えるのも一興ではなからうか。

筆者は現ナスダック上場「特殊電極 (株)」元オーナー。釣り名人として著名です。

告 知 板

☆ 新卒者の終身会費制度 ☆

今年高校を卒業した 89 回生の皆さんは、卒業時点で終身会費を納めることを選択できます。詳細は、以前に振込用紙同封の文書にてご案内したとおりです。

また、これに伴い、卒業後 7 年以内の方 (卒業時に 7 年分の年会費を前納) でも、ご希望により終身会費制に移行していただけるようになっています。その際の金額は P.10 の表をご覧ください。

☆ ご注意！住所・電話番号の問い合わせ ☆

最近、「甲陽学院同窓会」や「甲陽高校事務室」の名前を騙り、同窓生の携帯番号や住所、メールアドレスなどを問い合わせる電話がかかっているようです。

現在、同窓会や母校でそのような調査活動をしている事実はありません。

皆様には、先方の名称・住所・電話番号などをご確認いただいて、慎重な対処をお願いいたします。

☆ 「ノボテル甲子園」の優待券 ☆

甲陽学院同窓会会員用に「宿泊 15% 割引」「レストラン & バー 10% 割引」の優待券を発行していただいています。2010 年 12 月 30 日までの優待券が事務局にございますので、ご希望の方は、お手数ですが、事務局までお電話・FAX・Eメールにてご請求ください。

☆ ーお願いー 住所変更の届け ☆

* 会報の発行に際し、毎回・約 100 通に近い会報が転居先不明で戻ってきます。

* その都度、事務局で労力と時間をかけて、転居先の調査を行い再発送を行っています。事務局の確認作業にも限界があります。住居を移転された時は、忘れずに事務局まで住所移転の通知をお願いします。

* 各回卒の理事・評議員の皆様は、同期の方に住所・勤務先等の変更の連絡がありましたら、必ず事務局にも、ご連絡の程お願いを申し上げます。

☆ 「会報・甲陽だより」の原稿募集 ☆

* 次号・第 79 号は、来年 2 月末頃に発行を予定しています。

* 「会員だより (同期会・クラス会)」・「運動部・文化部の O B 会だより」・「詩・短歌・俳句の発表」・「クラス会・同好会・研究会等の連絡」などのご投稿をお待ちしています。

* 原稿の締切日は、来年 1 月 10 日です。

会 務 報 告

1 はじめに

平成19年度の会務につきまして、平成20年4月28日に開催されました役員総会の議事内容にしたがってご報告いたします。

2 各委員会活動について

(1) 会報編集委員会

昨年7月に会報「甲陽だより」第76号を、今年2月に第77号を発行しました。

(2) 会員総会運営委員会

平成19年度の会員総会については、「甲陽だより」第77号にてご報告したとおりです。

90周年記念総会として、京都大学大学院の中西寛教授（62回）、テノール歌手の竹田昌弘氏（59回）、元宝塚歌劇団の桐生のぼるさん率いる歌とダンスのチームなど多彩なゲストを迎えました。また、校章入りストラップなどの記念グッズの販売も行いました。

(3) 奨学金ファンド管理委員会

現役の中学生・高校生に奨学金を支給するという目的で設立されたこのファンドですが、多くの方のご協力により醸金総額は合計3000万円強にのぼりました。第2回目の奨学金の支給は、平成19年7月に行われ、母校校内に設けられた選考委員会の選考を経て6名に奨学金が給付されました。

(4) 会務運営委員会

5回にわたって、同窓会の会務全般の見直しについて討議しました。すなわち、同窓会財政の問題（会費規定の見直し）、甲陽学院同窓会ネットの開設、会員総会のあり方、同窓会名簿の刊行、などについてであります。

その結果、会費規定の見直しについては原案を作成し役員総会に上程することになりました（役員総会にて原案が承認、P.11参照）。また、同窓会ネットについては4月より本格運用が始まりました（P.12参照）。会員総会については、従来通り毎年開催すること、理事会など同日開催を検討すること、ホームカミング学年を増やすこと、など提案されました。

3 平成19年度の決算報告について

当年度の決算については、次頁に掲載の決算書が役員総会に報告され、監事からの監査報告を受けて、承認されました。

4 平成20年度の活動方針と予算について

平成20年度の活動方針として、次の各項が承認されました。

(1) 会員総会を8月23日（土）にノボテル甲子園にて開

- 催する。
- (2) 会報「甲陽だより」を年2回発行する。
- (3) 甲陽学院同窓会奨学金ファンドの更なる充実と発展を図る。
- (4) 「甲陽アーカイブ」「同窓会公式ホームページ」を活発に展開させるとともに、「同窓会ネット」を本格稼働させる。
- (5) 全国各地での地域甲陽会の立ち上げに協力し、その構築を支援する。
- (6) 会員名簿の編纂・発行について、個人情報保護法との関係を踏まえ検討する。

5 会長・監事の選任の件

1期2年会長を務められた有田氏（31回）を推挙する意見が出され、満場一致の拍手により再任が決定しました。

また監事には、善野氏（33回）、水島氏（49回）、植木氏（66回）の3氏が選出されました。

● 終身会費・各回別納付金額設定表 ●

(平成21年3月31日まで)

回 生	金 額	回 生	金 額	回 生	金 額
1回	10,000	34回	10,000	67回	26,500
2回	10,000	35回	10,500	68回	27,000
3回	10,000	36回	11,000	69回	27,500
4回	10,000	37回	11,500	70回	28,000
5回	10,000	38回	12,000	71回	28,500
6回	10,000	39回	12,500	72回	29,000
7回	10,000	40回	13,000	73回	29,500
8回	10,000	41回	13,500	74回	30,000
9回	10,000	42回	14,000	75回	30,000
10回	10,000	43回	14,500	76回	30,000
11回	10,000	44回	15,000	77回	30,000
12回	10,000	45回	15,500	78回	30,000
13回	10,000	46回	16,000	79回	30,000
14回	10,000	47回	16,500	80回	30,000
15回	10,000	48回	17,000	81回	30,000
16回	10,000	49回	17,500	82回	30,000
17回	10,000	50回	18,000	83回	30,000
18回	10,000	51回	18,500	84回	30,000
19回	10,000	52回	19,000	85回	29,000
20回	10,000	53回	19,500	86回	28,000
21回	10,000	54回	20,000	87回	27,000
22回	10,000	55回	20,500	88回	26,000
23回	10,000	56回	21,000	89回	25,000
24回	10,000	57回	21,500	高商・1	10,000
25回	10,000	58回	22,000	高商・2	10,000
26回	10,000	59回	22,500	高商・3	10,000
27回	10,000	60回	23,000	高商・4	10,000
28回	10,000	61回	23,500	機械・1	10,000
29回	10,000	62回	24,000	機械・2	10,000
30回	10,000	63回	24,500	造船・1	10,000
31回	10,000	64回	25,000	造船・2	10,000
32回	10,000	65回	25,500	工業・1	10,000
33回	10,000	66回	26,000		

※83～89回は前納年会費以外に上記の金額となります。 (単位：円)

同窓会費改定のお知らせ (平成21年4月より)

平成 20 年 4 月 28 日に行われました役員総会において、来年度からの同窓会費改定が決定されました。創立 100 周年 (平成 29 年) に向けて同窓会財政の安定化・健全化をはかることが、その目的です。

会費の改定は次の通りです。

- (1)年会費は2000円とする (現行1000円)。
- (2)入会金は6000円とする (現行3000円)。
- (3)終身会費は右の別表の通りとする。
- (4)新制度は平成 21 年 4 月 1 日から実施する。

なお、これにともなって従前からの特典 (新終身会費への切り替え促進策) の廃止は平成 21 年 3 月まで延期されます。

現行の終身会費の金額表は P.10 の通りです。これが来年 4 月より右の表に改定されますので、お早目に終身会費に切り替えられることをお勧めします。

[改定] 終身会費納付額設定表 (平成21年4月1日~平成22年3月31日)

90回~84回	30,000円	70回	37,000円	56回	23,000円
83回	50,000円	69回	36,000円	55回	22,000円
82回	49,000円	68回	35,000円	54回	21,000円
81回	48,000円	67回	34,000円	53回	20,000円
80回	47,000円	66回	33,000円	52回	19,000円
79回	46,000円	65回	32,000円	51回	18,000円
78回	45,000円	64回	31,000円	50回	17,000円
77回	44,000円	63回	30,000円	49回	16,000円
76回	43,000円	62回	29,000円	48回	15,000円
75回	42,000円	61回	28,000円	47回	14,000円
74回	41,000円	60回	27,000円	46回	13,000円
73回	40,000円	59回	26,000円	45回	12,000円
72回	39,000円	58回	25,000円	44回	11,000円
71回	38,000円	57回	24,000円	43回~	10,000円

*平成22年度以降は、この設定表を1年分ずつスライドさせていく。

● 平成19年度 決算報告書 ●

[収入の部]			[支出の部]		
科目	決算額	予算額	科目	決算額	予算額
会費	10,707,750	9,500,000	人件費	2,121,200	2,136,000
年会費	1,451,250	1,500,000	月手当	1,536,000	1,536,000
終身会費	4,646,500	3,000,000	夏冬手当	320,000	320,000
新卒入会金	618,000	600,000	通勤費	265,200	280,000
新卒年会費	1,442,000	1,400,000			
新卒終身会費	2,550,000	3,000,000	交通費	0	200,000
			需要費	959,725	780,000
会報広告料	60,000	60,000	通信費	518,206	500,000
総会会費収入	1,285,500	2,000,000	事務消耗品費	50,239	80,000
利子収入	45,905	20,000	備品費	15,800	100,000
ストップ収入	160,800	0	IT関係費	375,480	100,000
雑収入	13,500	0	会議費	2,789,116	3,100,000
寄付金	15,000	0	役員総会費	1,807,647	1,700,000
			役員総会費	204,064	250,000
収入合計	12,288,455	11,580,000	理事会費	97,776	250,000
特別積立金繰入	1,180,000	1,180,000	委員会費	471,031	700,000
基本金解約			懇談会費	208,598	200,000
繰越金	11,808,259	11,808,259	事業費	4,957,137	5,140,000
合計	25,276,714	24,568,259	甲陽だより	896,330	1,000,000
			郵送料	1,540,813	1,500,000
			振替用紙	135,859	120,000
			封筒	179,025	120,000
			記念品	608,110	600,000
			母校後援費	120,000	200,000
			90周年事業費	1,477,000	1,600,000
			雑費	287,625	340,000
			校内志	40,000	40,000
			慶弔その他	100,000	100,000
			振替料	115,020	100,000
			その他雑経費	32,605	100,000
			支出合計	11,114,803	11,696,000
			特別積立金繰入	205,000	200,500
			新基本金繰入		8,000,000
			予備費	0	4,671,759
			支出総計	11,319,803	24,568,259
			収入総計	25,276,714	
			支出総計	11,319,803	
			翌月繰越金	13,956,911	

(単位: 円)

● 平成20年度 予算書 ●

[収入の部]			[支出の部]				
科目	H20年度	H19年度決算	H19年度予算	科目	H20年度	H19年度決算	H19年度予算
会費	8,800,000	10,707,750	9,500,000	人件費	2,136,000	2,121,200	2,136,000
年会費	1,300,000	1,451,250	1,500,000	月手当	1,536,000	1,536,000	1,536,000
終身会費	2,500,000	4,646,500	3,000,000	夏冬手当	320,000	320,000	320,000
新卒入会金	600,000	618,000	600,000	通勤費	280,000	265,200	280,000
新卒年会費	1,400,000	1,442,000	1,400,000				
新卒終身会費	3,000,000	2,550,000	3,000,000	交通費	200,000	0	200,000
				需要費	1,000,000	959,725	780,000
会報広告料	60,000	60,000	60,000	通信費	500,000	518,206	500,000
総会会費収入	1,200,000	1,285,500	2,000,000	事務消耗品費	50,000	50,239	80,000
利子収入	20,000	45,905	20,000	備品費	50,000	15,800	100,000
				IT関係費	400,000	375,480	100,000
雑収入	0	174,300	0	会議費	2,800,000	2,789,116	3,100,000
寄付金	0	15,000	0	役員総会費	1,500,000	1,807,647	1,700,000
				役員総会費	250,000	204,064	250,000
収入合計	10,080,000	12,288,455	11,580,000	理事会費	250,000	97,776	250,000
特別積立金繰入	0	1,180,000	1,180,000	委員会費	600,000	471,031	700,000
基本金解約	0		0	懇談会費	200,000	208,598	200,000
繰越金	13,956,911	11,808,259	11,808,259	事業費	3,540,000	4,957,137	5,140,000
収入総計	24,036,911	25,276,714	24,568,259	甲陽だより	1,000,000	896,330	1,000,000
				郵送料	1,500,000	1,540,813	1,500,000
				振替用紙	120,000	135,859	120,000
				封筒	120,000	179,025	120,000
				記念品	600,000	608,110	600,000
				母校後援費	200,000	120,000	200,000
				90周年事業費	0	1,477,000	1,600,000
				雑費	300,000	287,625	340,000
				校内志	40,000	40,000	40,000
				慶弔その他	100,000	100,000	100,000
				振替料	100,000	115,020	100,000
				その他雑経費	60,000	32,605	100,000
				支出合計	9,976,000	11,114,803	11,696,000
				特別積立金繰入	15,000	205,000	200,500
				甲陽F預り金繰入	0		
				新基本金繰入	8,000,000		8,000,000
				予備費	6,045,911	0	4,671,759
				支出総計	24,036,911	11,319,803	24,568,259

(単位: 円)

甲陽学院同窓会ホームページと甲陽学院同窓会ネットについて

甲陽学院同窓会 HP&ML 管理担当 花木 繁 (42回)

甲陽学院同窓会のホームページを正式に発足し2年が経過し、そろそろ会員の皆様にもその存在を知っていただけるようになったのではないかと思います。そして、この度、同窓生のつながりをもっと親密なものにしていただくため、「甲陽学院同窓会ネット」を下記のような目的と役割を果たす目的で、創設することと致しました。

■「甲陽学院同窓会ネット」立ち上げの目的

「甲陽学院同窓会ネット」は、現在「会員総会」と「甲陽だより」のみに委ねられている「会員相互の交流の場」としての役割を補い、定年後OBと現役社会人、現役社会人と現役大学生、地域の個人と地域の仲間、全国の仲間、世界の仲間、そして何よりも年代の差を越えた各世代の仲間を取り持ち、また、「甲陽同窓生」というつながりの中で、皆さんの疑問、質問、お願いなどを発信していただき、それに対して、年齢や職業、地域の違いを超えて、同窓生の皆さん自身がお答えいただくことによって、お互い同士をつなぐ、ちょうど人間であれば体全体をつなぐ「血管」や「神経」の役割を受け持つ存在になることを期待しております。

■「甲陽学院同窓会ネット」が甲陽学院同窓会の中で果たす役割

「甲陽学院同窓会ネット」を通じて結ばれた同窓生が年齢、職業等の垣根を超えて、各地で「地域甲陽会」を結成、活動し、甲陽学院同窓生間の強い結びつきを醸成する役割を果たす。

<具体的例>

1. 専門知識に通じた方々の医療、法律、その他の情報を求めることができる。
2. 旅行、或いはビジネスで各地を訪ねる時に「おすすめスポット」や「おすすめレストラン」などの情報を手に入れることができる。ネットは世界をつなぐので、世界中で可能。
3. ネットの出会いを基に地域の甲陽会を作り、地域交流を図る。既に、「東京甲陽ネット」「東北甲陽会」「三田甲陽会」などがある。
4. 現役大学生は、将来の方向や就職活動等について同窓生の支援を受けることができる。既に、「東京甲陽ネット」ではOBセミナー等が開催されている。もちろん、OB企業からの就職支援活動も考えられる。

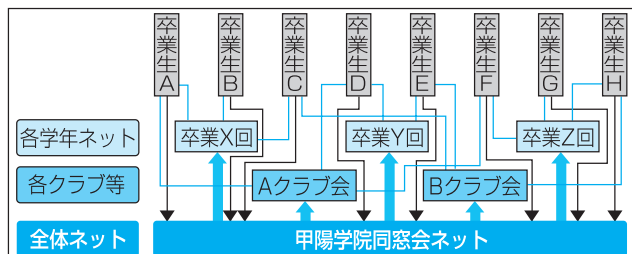
そしてこの活動が全国、或いは世界中に広がり、世界の各地に地域の甲陽同窓会が誕生し、地域の同窓生の「和」と「輪」を通じて、甲陽同窓会の輪が広がっていくことを目標の一つに掲げ、このメーリングリストがその一助となることを願っております。

▶結果として

現在の同窓会が非常に強い結束を誇る同窓会として生まれ変わり、「甲陽学院」のヴァリューも高まり、未来の利器となるであろう人材も集まり、現在直面する同窓会財政の危機についても自然解消に向うであろう、ことを目指しています。

▶メーリングリストとは

ご存知の通り、これはインターネットを通じて皆様方を繋ぐ道具ですが、内容的には2つの部分で構成されます。



1. 各学年ネット：各回の卒業生の間を結ぶメーリングリスト。学年同窓会の連絡等にお使いいただけます。他の学年とはつながりません。

2. 同窓会ネット：登録された全ての同窓生を結ぶメーリングリスト。

勿論、既に学年メーリングリストをお持ちの学年は、新たに登録の必要はありません。各学年のメーリングリスト管理者を同窓会ネットに登録させていただきます。また、各クラブの活動、地域甲陽会の活動を支援するため、ご希望があれば同窓会のサーバーに各クラブや各地域甲陽会等のメーリングリストを作ることが出来ます。これにより、クラブ内等の連絡が非常に楽になると考えております。また、何れも登録料、使用料等は同窓会で負担いたしますので、特別な皆さんの負担はありません。

- この「甲陽同窓会ネット」を通じて、
- ・既にある「東京甲陽ネット」「東北甲陽会」「三田甲陽会」のような、常に交流できる地域の同窓会が生まれること。
 - ・年代を超えたスポーツや趣味を同じくするクラブが生まれること
 - ・年代や地域の違いを超えて、同窓生同士が助け合えることを願っております。

■メーリングリストへの登録方法について

1. 各学年、各クラブ、各地域会等のメーリングリストの新設の場合、各グループの連絡責任者を決め、その方の責任の下に各学年等の参加者のメールアドレス、卒業回数、氏名の一覧表をEXCEL形式でお作りいただき、同窓会ML管理者 obamladm@koyogakuin-oba.jp 宛お送りください。
 2. 各学年等で既にメーリングリストを作られている場合は、その管理責任者のメールアドレス、卒業回数、参加者人数、責任者の氏名を同窓会ML管理者 obamladm@koyogakuin-oba.jp 宛お送りください。全体メーリングリストで流す情報をその管理責任者宛お送りいたします。
 3. 全体のメーリングリストへの登録方法
 - (1) 学年等のメーリングリスト管理者を通じ、登録される場合 学年等のメーリングリスト管理者の全体ネットへも登録希望の事をお伝えください。学年等の管理責任者の方から、甲陽学院ネット管理者にご連絡いただくようになっております。
 - (2) 甲陽学院同窓会ホームページを通じ、直接登録される場合 各学年等のメーリングリストに未登録、学年等のメーリングリストが出来ていないなどで全体ネットに直接登録をご希望の方は、甲陽学院同窓会ホームページ <http://www.koyogakuin-oba.jp> の左欄に有ります。
 - ① [ML登録・変更] をクリックして、登録ページに入り、
 - ② 必要事項(氏名、卒業回数、住所、担当教諭名、メールアドレス等*ご本人確認に必要な事項)をご入力ください。(注)現在は、パスワード等の入力はありません。
 - ③ 必要事項の入力が終わりましたら、[送信] ボタンを押してください。
- 注) お使いのメールソフトによって上手く送信されない場合が有るようです。その場合は、お手数ですが、上記の入力ページをコピーしメールに添付し、同窓会ML管理者 obamladm@koyogakuin-oba.jp にお送りください。

4. いただいた登録情報は、甲陽学院同窓会の責任の下で管理し、甲陽学院同窓会会員で有ることを確認させていただいた上で、[登録完了] のメールを発信いたします。

これから生まれます「甲陽学院同窓会ネット」に、皆様方から今まで同様のご協力を賜りますと共に、多くの会員の方々の登録によって、この「甲陽学院同窓会ネット」が皆様方にとって素晴らしい仲間へ育つよう、心より願っております。

吉田 謙一 先生逝去

昭和 22 年 4 月から昭和 23 年 8 月まで本校の国語科教諭として教鞭を執られた吉田謙一先生逝去の報に接しました。

稗栗頭で中学校に入学した昭和 23 年春、私達 B 組 35 名を担当していただいたのが吉田先生でした。が、それも僅か 4 ヶ月ほど、夏休みに学校を去られていました。

黒板に書かれた金雀枝、鶴鶴など自然を題材にした随筆風の文をノートに書き写して教材にした手づくりのものだったこと、20 才代半ばで三揃いの背広を着こなしダンディなイメージは強烈で、いまだに鮮明に私達の脳裏に焼き付いているほどです。

束の間の一挙一動でしたが、先生のご冥福をお祈りしています。

合掌

昭和 23 年中学校 1 年 B 組一同

訃報

(平成 21 年 5 月 31 日現在)

事務局では左記会員の逝去の報に接しました。謹んで哀悼の意を表します。

越野 陽吉氏 (13 回)	宮木 博通氏 (13 回)	横山 良雄氏 (11 回)	三浦 喜雄氏 (11 回)	佐伯 憲三氏 (11 回)	天野 茂氏 (10 回)	松下 良夫氏 (8 回)
07 年 8 月 26 日	07 年 5 月 11 日	08 年 2 月 6 日	07 年 8 月 14 日	07 年 7 月 10 日	07 年 11 月 23 日	07 年 4 月 26 日

西中 正氏 (造船 2)	岡村 直矩氏 (高商 2)	糸井 卓夫氏 (高商 1)	池田 宏一郎氏 (64 回)	西村 悦宏氏 (57 回)	中村 登志雄氏 (52 回)	清水 信幸氏 (52 回)	小原 光明氏 (39 回)	井上 昇氏 (33 回)	長谷川 寿氏 (29 回)	松浦 純一氏 (28 回)	小松 久男氏 (25 回)	小谷 健次郎氏 (25 回)	加藤 嘉一氏 (25 回)	加賀見 明氏 (25 回)	楠本 春雄氏 (24 回)	土井 省吾氏 (23 回)	栗田 稔氏 (21 回)	尾原 一平氏 (21 回)	増田 芳郎氏 (20 回)	藤木 茂氏 (20 回)	小栗 好種氏 (18 回)	阪野 美之氏 (18 回)	香川 康氏 (16 回)	巽 亨氏 (13 回)
08 年 3 月 14 日	08 年 3 月 3 日	07 年 8 月 27 日	07 年 11 月 28 日	08 年 4 月 13 日	08 年 2 月 23 日	07 年 11 月 7 日	08 年 3 月 13 日	07 年 2 月 10 日	08 年 2 月 7 日	06 年 2 月 26 日	05 年 5 月 3 日	1998 年 7 月 5 日	05 年 9 月 26 日	03 年 1 月 1 日	03 年 12 月 18 日	07 年 12 月 23 日	06 年 12 月 13 日	07 年 12 月 5 日	08 年 3 月 5 日	08 年 1 月 1 日	07 年 1 月 10 日	07 年 10 月 11 日	00 年 4 月 30 日	08 年 4 月 23 日

■あて名ラベルの記号の見方

既に年会費をお納めの方や終身会費をお納めの方には失礼ですが、今回も振り込み用紙を同封しております。未納の方は、よろしくお納め下さい。

平成 20 年 5 月 31 日現在での同窓会費の納入状況をご案内しています。

例：終身会員 H11 年度 ←

♪ 卒	1	1	1	1	1	0	0	終
-----	---	---	---	---	---	---	---	---

① 上段には、前納の年度、または、終身会費をお支払い頂いた年度を示しています。その他の場合、この表示はありません。

② 下段には左から順に、平成元年度、2 年度、… 17 年度の年会費のお支払い状況を示しています。

▼記号の意味

1	当該年度分の年会費を納入済	終	当該年度に終身会費を納入	♪	甲陽学院に在籍
0	未納			卒	その年の 3 月に卒業

従いまして、下段に含まれる 0 の個数 × 1000 円が、未納の年会費となります。同封の振り込み用紙にてお支払いください。

★ H 元年以降に御卒業の方は、卒業時から 7 年分の年会費を予めお納め頂いております。次の二つの例をご参照下さい。

♪ ♪ 卒	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0
-------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

H10 以降は未納です。未納分をお納め下さい。

H15 年分まで納付

♪ ♪ ♪ ♪ ♪	♪ ♪ 卒	1	1	1	1	1	1	1
-----------	-------	---	---	---	---	---	---	---

H8 年 3 月に御卒業、さらに 1 年分の年会費を頂いたので、H15 年度まで納付しておられます。

④ 尚、年会費を納められるとき「何年度分」と指定されても、過去分が未納の場合、そちらへ充当させていただいております。また不明の場合は、事務局までお問い合わせ下さい。

会員だより

原稿は出来る限り400字詰原稿用紙一枚以内にして下さい。原則として原稿(含写真)は返却いたしませんので御了承下さい。

39回 集まろう、8月23日！

今年の甲子園は39回生の卒業50周年記念です！

今年の8月23日(土)にノボテル甲子園にて開催される甲陽学院同窓会会員総会是我々39回の卒業50周年でもありますので、この特権として会場の舞台上に上りきれないほどのメンバーで占領してしましましょう！そして元気で参加された恩師を囲み先輩や後輩たちに我々の元気な姿を見せつけましょう！

39回生の同窓会全国大会を、会員総会に引き続き同じフロアの別室で1~2時間茶話会程度の規模で開催いたします。ここで再度旧交を温めて楽しい1日を過ごしたく是非とも皆さんの参加をお待ちします。(勿論開催の内容の詳細は別途皆様にご連絡いたします。)(泥記)

第2回 同窓会ゴルフコンペ

第2回同窓会ゴルフコンペが5月22日読売ゴルフクラブ、ウエストコースで行われました。

快晴に恵まれ、6組21名の同窓が楽しい一日を過ごしました。

サクラクレパス(株)より豪華賞品の寄贈もあり、異世代交流の実を上げることが出来ました。

優勝は小野晃氏(29回)、次回10月は幹事をさせていただきます。同窓会活動の活性化を睨んでのこの企画、各人が同窓会との絆をより深め、会員同士の切磋琢磨でより豊かな時間を目指して行きたいものです。(35回 中村 記)



18回 山櫻会

本年は米寿を迎え多数の参加者を期待していましたが、何分高齢にて体調の悪い方もあり、残念乍ら3名の参加で、丁度芦屋川河畔の桜も満開の山櫻会に相応しい4月14日(月)JR芦屋駅前の京料理「たか木」で開催致しました。懐かしい学生時代の想い出話に時を過ごしお互の健康での又の再会を約して解散致しました。

(当日出席者) 貴田忠三・森本浩・高田幸三郎

◎同窓の方で次年度ご参加の方で住所変更のある方は事務局までご連絡下さい。

以上。

(高田 記)



24回 橘友会

平成19年12月5~6日の2日間、近久君のお世話で「伊勢神宮参拝」と「伊勢安乗の天然河豚を楽しむ会」を催した。当日出席者は阪神間より6名(中島、馬場、綿谷、織部、近久の各君と南方)と、横浜から1名(宮代君)の7名であった。

阪神間組は阪神梅田駅に集合、地下鉄難波駅から近鉄特急にて約2時間半、久し振りにクラスメートでの旅行気分になり沿線の名勝、社寺等の話も楽しく、鶴方駅で宮代君が合流、迎えの車で当日の宿「涛荘(オオナミソウ)」に投宿、一汗流した後、3時間余天然河豚の味覚を堪能し、後、各自の近況談や伊勢神宮参拝は各自10年以上ぶりの事で、夫々小学校の修学旅行の思い出話や回顧談に花が咲き、深更迄時を忘れ歓談した。翌日も好天に恵まれ、伊勢神宮(内宮)に参拝。平成25年には遷宮祭があるとの事で、境内には種々の用意が早くも準備されつつある様子だったが、細かく手入れ打ち水された玉砂利を踏みしめ、古杉の大木を仰ぎ敬虔な気持ちで参拝、皆元気で来れた事に感謝した。その後おかげ横町、お祓い横町を散策し、昼食後宮代君は別行動となり、阪神間組は、宇治山田駅から難波經由梅田駅にて再会を約して解散した。

(写真) 後列左より 中島、宮代、近久、織部
前列右より 馬場、綿谷の各君と南方。
以上

(南方 記)



25回 天文会 (S20年卒 橘組)

平成20年4月20日(日)晴の午後今年は梅田の阪急グランドホテル28階「松江の味 皆美」(日本料理)にて開催致しました。

平成15年にお伝えしてからも、毎年4月20日迄各地にて同窓会を催し、年々出席人数が減って来ましたが、今年のみんなが傘寿の年でもあり呼びかけました処、医師であり多様な浅香君、身体が良くない有山君、村上宗徳君も賛

同してくれて、久しぶりに9名の会合となりました。13年ぶりの級長浅香君の乾杯にて開会、各自の近況報告及び欠席者の現状を知ってる者が説明をしながら約2時間、歓談、飲食を楽しみました。最後にお互いに健康に気を付けて、来年も元気で再会出来る様誓い合って、散会致しました。来年も4月20日に開催を大芦君が場所を選定してくれますのでその時点で皆様に連絡をして出欠をとる予定しております。今年も、用事の方や、持病の方が多くて、出席者がどうかと思いましたが、幸い今年も9名となりました。猶当日の出席者は下記の9名です。

後列左より 押目圭市、新美政隆、大芦万久、村上誠一、嘉治井久雄、波々伯部繁
前列左より 浅香隆一、村上宗徳、有山寿一
(大芦、波々伯部 記)



アンサンブル部

第8回甲陽ウィンドアンサンブルの夕べ

日時：2008年8月15日(金) 午後5時開演 入場無料
 場所：うはらホール (JR住吉駅下車すぐ)
 出演：甲陽学院高等学校アンサンブル部、
 甲陽学院高等学校アンサンブル部OBバンド
 曲目：ムソルグスキー／展覧会の絵 他
 皆様のご来場を心よりお待ちしております。

静先生 退官記念コンサート開かれる

2008年3月をもって保健体育科の静利一郎先生が定年退職なされました。この甲陽だよりを読まれているOBの中にも、静先生の授業を受けられた方はたくさんいらっしゃると思います。そんなOBの方も、静先生のご趣味がカントリー音楽であることをご存知だったでしょうか？

静先生はかねてより親交のあるアメリカ在住のプロギタリスト、ビリー市田さんと「いつか共演できたら」という夢をお持ちでした。その先生の長年の夢を実現させようと静先生の教え子で48回生の棟広隆夫氏が発起人となり、ビリーさんをアメリカからお招きして、退職記念コンサートが開かれることとなりました。

コンサートは2008年4月17日、芦屋の「ルパシノワ芦屋」で開催されました。六時半の開演時刻の前から幅広い年齢層のOBを中心に会場は満席となり、和やかな雰囲気になっていました。

ビリー市田さんと、ビリーさんのバンド「ジャンクション87」の演奏で幕を開けた後、ウエスタンの衣装に身を包んだ静先生がご挨拶され、ビリーさんとの出会いのお話やバンドの紹介をされました。ビリーさんによるご発声で乾杯が行われた後は、いよいよ静先生がギターでバンドに加わり、歌声を披露されました。

68回 卒業20周年記念同窓会

昨年11月24日(土)、卒業20周年を祝う学年同窓会が大阪市のホテルにて開催された。佐々木尚先生、山田宏先生の退官記念会以来、約10年ぶりの学年会で消息が分からない同窓生も多かったが、82人が参加。長野から駆けつけていただいた学年主任の山田先生、まだ甲陽で現役の山内英正先生、大川貴史先生も加え、過去最大の学年会となりました。

今回は、発起人の妹尾浩史君を中心に横田茂君、白鷺洲秀信君ら約15人が運営スタッフとして約4ヶ月間、電話連絡や「mixi」にコミュニティを立ち上げるなど様々な工夫で参加を呼びかけ、綿密な準備を行いました。

そして当日。参加した3人の先生方の挨拶に加え、ミス甲陽に優勝した嘉村武浩君、島田靖久君、岩崎真也君による20年ぶりの女装と「UFO」披露や卒業までの足跡を写真と当時のヒット曲で振り返るパワーポイント上映、先生方への取材や寄稿、同窓生の現状などを掲載した8頁の特別新聞配布、全員での学院歌斉唱など、盛り沢山の内容で、非常に楽しい宴となりました。なお、mixiでは現在も同窓生たちが現状を報告しあうなどバーチャル同窓会を楽しんでいます。当日の写真やビデオ閲覧も可能です。同窓生の方は是非参加用アドレス

koyo1987@yahoo.co.jp
 までメールをいただいた上、ご参加ください。
 (林 記)



バンドのメンバーと音を確かめ合いながら、「I Don't Hurt Any More」「Stepping Stone」など7曲を熱唱。その後、静先生は一旦バンドを離れて会場の人々一人一人に挨拶をして



回られていました。飛び入りで参加されたビリーさんのお姉さんに呼ばれて再びバンドに加わった静先生は「テネシーワルツ」を歌われ、少しの休憩を挟んで後半のステージが始まりました。

途中で48回生の植田千裕氏も飛び入りでバンドに参加して恩師と教え子の共演が実現、会場を沸かせました。合間に曲紹介や先生の近況を交えながら、「A Fool Such As I」など7曲を心をこめて歌われ、会場からは大きな拍手が送られました。静先生は「今日のこの楽しさを一生忘れない」と笑顔で挨拶され、アンコールを歌われた後、先生を囲んで同窓生たちの写真撮影会が始まりました。その後、同窓会が何時まで続いたのか定かではありませんが、静先生にとってもOBにとっても忘れられない一日となりました。

これからの静先生の活躍を心よりお祈り申し上げます。

夏の会員総会

これからの社会を考え カントリーウエスタンに酔う

8月23日(土)14時半~18時 於:ノホテル甲子園

甲陽学院同窓会恒例の夏の会員総会、今年も甲陽発祥の地、ノホテル甲子園にて開催いたします。今回は、検事総長に就任されたばかりの樋渡利秋氏(45回)とわれらが恩師で多くの同窓生がお世話になった静利一郎先生を二大ゲストにお招きします。どうぞお誘い合わせの上、奮ってご参加下さいませようお願い申し上げます。

(なお、当日の開始時間にご注意下さい。)

■第1部 式典と講演会

講師 検事総長
樋渡利秋氏(45回)

演題 「甲陽の思い出…これからの社会」



講師の樋渡氏は、鹿児島県出身、1958年甲陽学院中学校入学、1964年高校卒業。担任は、中学時代が村上千秋先生、高校時代が池上明先生。クラブは地歴部、卓球部で活躍。1964年東京大学文科一類入学、1967年司法試験合格、司法修習後、1970年東京地検検事に任官。1990年東京地検特捜部副部長としてリクルート事件を担当、その後、内閣官房司法制度改革推進準備室長、法務省事務次官、広島高検検事長・東京高検検事長などを経て、今年7月から現職。趣味はぶらぶら歩きとのこと。

来年から実施される裁判員制度のお話などもうかがえるでしょう。

■第2部 静先生オンステージと懇親会

1965年から2008年まで母校で教鞭をとられた静先生は、東京オリンピック候補選手だったというほどの柔道の大家ですが、もう一つの顔としてカントリーウエスタンの演奏家としてもプロ級の腕前の持ち主です。

今回は、静先生に3名のお仲間を加えた「フルハウス」の皆さんにカントリーウエスタンの演奏をお願いしました。懐かしい静先生のボーカルとギターをはじめ、ベース、ドブログター、マンドリンによる魅惑のステージをお楽しみ下さい。

音楽に酔いしれた後は、懇親会。恩師の先生を囲んで、今度ご寄贈賜りました清酒「白鹿」とサントリーのビール・ウイスキーに酔いながら、楽しい一時をお過ごし下さい。

ホームカミングデー

卒業後50年の39回生、卒業後35年の54回生、卒業後25年の64回生の皆さんは、今回ホームカミングデーです。ささやかですが記念品を用意しておりますので、奮ってご参加下さい。

司会は今年もNHKアナウンサー真下 貴氏(69回)です。なお、当日会場では母校校章入りのストラップを1200円にて販売いたします。



information

日 時 平成20年8月23日(土)
第1部 14時30分~16時15分
第2部 16時30分~18時

会 場 ノホテル甲子園(旧甲子園都ホテル)
TEL 0798-48-1111

会 費 一般会員 5500円(当日会費)
学生会員 2000円(当日会費)
同伴家族 2000円(当日会費)
新卒者(平成20年3月卒) 無料

※母校への問合せはご遠慮下さい。

申込方法

同封の振込用紙で、8月14日(木)までに会費をお振込み下さい。あるいは8月18日(月)までに事務局まで参加のご予約を下さい(葉書、電話、FAX、Eメール)。この場合は特別割引として、一般会員5000円、学生会員・同伴家族は1500円とさせていただきます。

問合せ先

甲陽学院同窓会事務局
〒662-0096 西宮市角石町3-138
TEL 0798-71-4888(月・水・木・金) 10時~16時
(8月12日~17日は母校夏期閉鎖期間につき不在)
FAX 0798-71-4890
Eメール fvgp1650@mb.infoweb.ne.jp

☆当日の料理・名札等の準備がありますので、できるだけ事前振込ご予約をお願いいたします。

☆まだまだ暑い折ですので、当日はカジュアルな服装でご参加いただいで結構です。

☆平成15年の役員総会の決議により、新卒者以外の無料会員の制度が廃止になりました。

上記の会費にて運営いたしたく、よろしくご了承下さいますようお願い申し上げます。



Superbly located for business or pleasure.

www.novotelkoshien.com

西宮市甲子園高潮町3-30 TEL.0798-48-1111



ノホテル甲子園